

しもかわ財団の活動紹介

「つなぎ・ささえ・つくる」

■お問い合わせ
総務企画課企画調整係
☎ 4-2511 内線232 ☆ 4-251102
しもかわ地域振興機構（通称…しもかわ財団） ☎ 4-3511

地域おこし協力隊は、都市から地方に移住し、その土地で様々な地域協力活動を行いながら定住・定着を図ることを目指した総務省の制度で、多くの自治体が制度を活用しています。下川町でも積極的に制度を活用し、現在12名が地域おこし協力隊として活動しています。

今回の報告会は、地域おこし協力隊7名6組が、今どのような活動をしているのか、事業にかける想いなどについて話をしていただきました。当日は遠隔地にいても参加できるオンラインと現地の参加の2つで実施し、延べ49名の参加がありました。また、地域おこし協力隊の発表後には参加者が協力できる支援内容、質問、応援メッセージが多数寄せられ、それに対して発表者が回答するなど事業の説明に対してのやり取りがありました。

【メッセージ一部抜粋】

・いろいろなイベントで見かけていたが、地域おこし協力隊の方だと今

日の報告会で初めて知りました。イベントを企画しているのでタイミングが合えば出張販売していただけたら嬉しいです。

・3年間のお二人の頑張りを感ずる素敵なプレゼンでした。これからも目指す農業に向け頑張ってください！応援しています！

休憩時間や報告会終了後は参加者と発表者が談笑するなどの様子が会場内のあちこちで見られました。また、当日は下川商業高校3年生の生徒が課題研究の一環で人の集う場を創る取り組みをしており、そのイベントの宣伝でコーヒーマシンの販売を実施しました。また、もう一人の生徒は出身元の特産品と下川町の特産品を交換販売する取り組みを行っており、野沢菜の販売を物販スペースで実施し、若者の取り組みを応援する大人であふれていました。



空き家コーディネーター：菅原睦美さん

しもかわ財団で空き家の総合相談窓口を担当。町内の空き家や物件の活用と流動化促進のため活動中。引き継ぎたい物件と使いたい人のマッチングをメインに相談者の事務的サポートに取り組む。



宅配等事業地域おこし協力隊：谷口義尚さん

下川ハイヤーにて、宅配等事業として セイコーマート・Qマート・やない菓子舗・ナカジマ薬局・ニコットの商品が高齢者等へ宅配するとともに、大手宅配事業者の宅配物の貨客混載の実証試験を実施。



鳥獣対策支援員：森俊輔さん

生物多様性の保全や野生動物との共生に興味があり、個体数の管理や生息環境の保全に直接関わるため、役場産業振興課で鳥獣被害対策業務を担当。電気柵の設置やヒグマ・アライグマ対応、エゾシカ捕獲や捕獲した個体の有効活用促進等を行っている。



シモカワベアーズ：中村隆史さん

クラフトビールを提供するブルーパブ（店内に醸造所を併設し、造りたてのビールが飲める店）を開業することを目指し、現在は醸造免許を取得し、自家製ビール製造と「しもかわ森のブルワリー」をオープン。事業理念は“ビールによって人と人をつなぎ、笑顔があふれる暮らしに貢献する”こと。



ICT支援員：松浦文江さん

2023年に地域おこし協力隊着任。面白法人カヤックと兼業で行っている。小学校と中学校でICT支援員としてPCの設定やネット環境の整備などを担当。リモート授業のサポートやPCを使った授業のサポート、またネット犯罪の予防に向けた授業などを行っている。



農業支援員：鬼頭俊一さん・めぐみさん

2022年4月～妻めぐみ、2023年1月～夫俊一 地域おこし協力隊に着任。埼玉県さいたま市より子供2人と家族で移住。R7年1月の新規就農を目指し現在研修中。美味しいフルーツトマトが作れるように頑張ってます！

